

空袋の上に飛び降りて足首をねんざ

空袋の下に廃材の鉄片があった…



《災害のあらまし》工場の原料配合室で、作業者（男性19歳・勤続1年）が、紙袋に入った粉体材料を混合槽に投入し終わって、床に投げ降ろして積み重なった空袋の上に高さ1・2mの架台から勢いよく飛び降りた際に、たまたま袋の下に廃材の鉄片があったため足首をねんざ・骨折したものです。

《災害の主な原因》

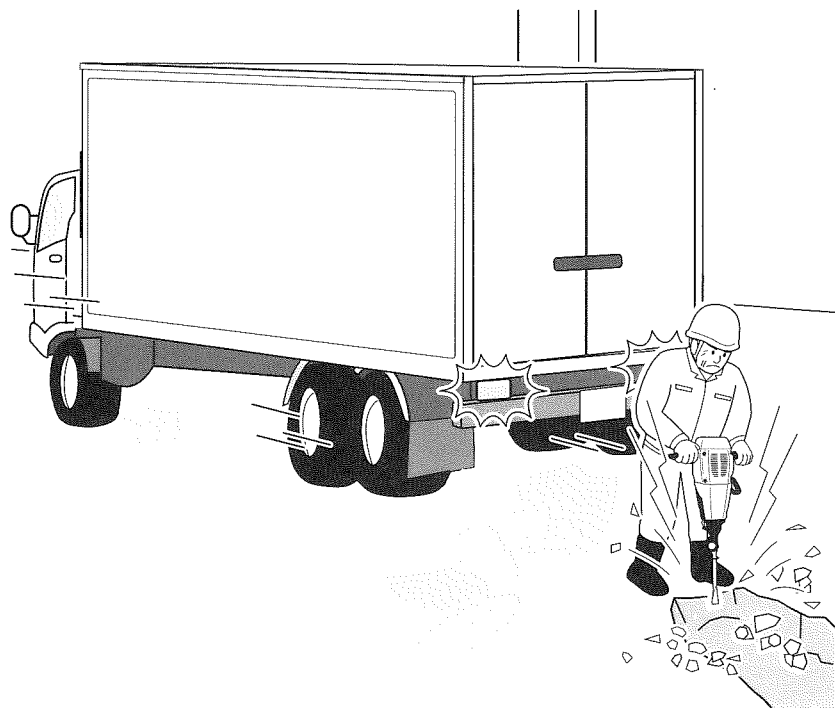
- ① 混合槽の昇降に階段を使用しなかったこと。
- ② 床に鉄廃材が放置されていたこと。
- ③ 空袋の上に飛び降りたり、袋を踏み付ける行動は、空気が抜けて袋の処理がしやすいからと、以前から行われていたこと。
- ④ 高所から飛び降りるなどの不安全行為が見過ごされていたこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ① 低い箇所であっても、飛び降りるなどの行動は行わないよう習慣化する。
- ② 危険な行動を見た場合は黙認しない。
- ③ 高さが低い箇所であっても、作業の状態や作業性等を検討して、有効な墜落・転落・飛び降り防止対策を行う。
- ④ 空袋は架台の上で粉じん等が飛散しないようまとめ、処理するよう作業手順で定める。
- ⑤ 作業場には廃材などを散乱させないよう、3S（整理・整頓・清掃）を基準化し、徹底を図る。
- ⑥ 若年者の安全・しつけの教育・指導を先輩たち全員が見つけ次第行う、など。

バックしてきたトラックにひかれて死亡

ブレーカーの音で警報音が聞こえなかった



《災害のあらまし》工場構内の工事現場で、土木工事を請け負った協力事業場の作業員（男性、65歳）が、エンジンブレーカーを使用して床のコンクリートを破碎していた場所に、工事機材を積んできた大型トラックが、急にバックしてきたためひかれて死亡したものです。

《災害の主な原因》

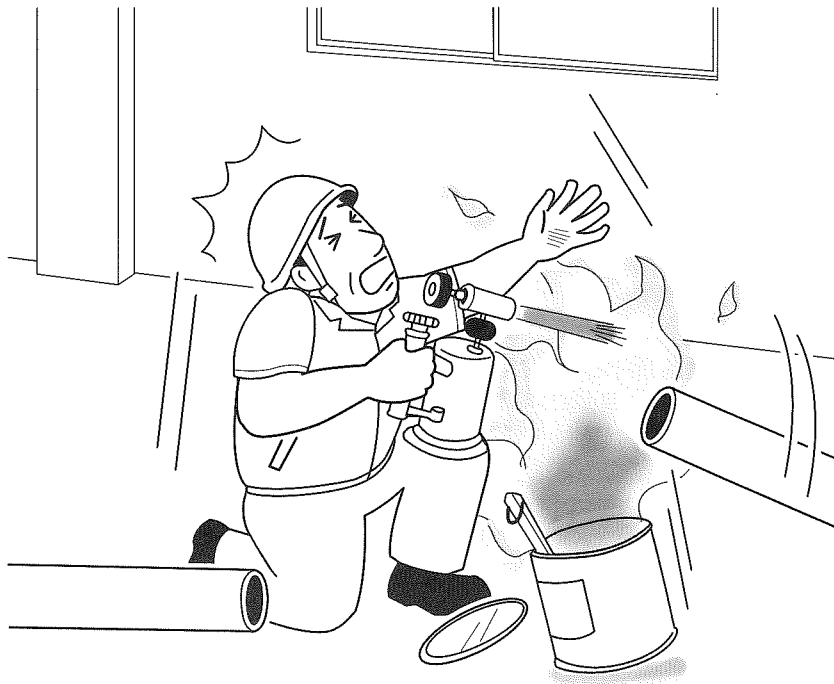
- ①被災者がトラックの真後ろの位置で作業をしていて運転手の視野に入らなかったこと。
- ②被災者は軽度の騒音性及び高齢難聴のため、ブレーカーの音と重なってトラックのバック警笛がよく聞こえなかったと思われること。
- ③当該場所に作業を調整・見張りする者が配置されていなかったこと。
- ④工事箇所にはバリケード等の措置を行っていなかったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ①車の出入りが想定される箇所では工事等を行う場合は、有効なバリケードや監視人配置等の措置を実施する。
- ②運転手は車両を後退させる際には、再度後方及び周辺の安全確認を行う習慣を身に付ける。
- ③「高齢難聴」等で、警笛等が聞こえない人もいることを前提に安全確認を徹底する。
- ④業者が混在する工事現場等で車をバックさせる場合などには誘導を依頼する。
- ⑤各業者は作業前に打ち合わせを行い、安全対策の調整・確認をする、など。

バーナーの火が接着剤に引火して火傷

接着剤のフタが開けっ放し 可燃性溶剤が蒸発



《災害のあらまし》事業場の工作室で、作業者（45歳・勤続25年）がバーナーと接着ノリを使って塩ビ管の接合加工を行っていたところ、バーナーの炎が近くの10ℓのノリ缶に引火したため、慌てて火を消そうとして、顔や腕に後遺症が残るヤケドを負ったものです。

《災害の主な原因》

- ① ノリ缶のフタが開いていたため、缶の中に5分の1程度残っていたノリから爆発の危険性がある可燃性溶剤の蒸気が蒸発していたこと。
- ② ノリ缶に近接して火気を使用していたため、有機溶剤の蒸気に引火して燃え上がったこと。
- ③ 被災者は驚いて、慌てて火を消そうとして顔や腕を火にあおられたこと。
- ④ ヤケドをした際、直ちに冷水で冷やすなどの救急処置を実施しなかったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ① 接着剤等の容器のフタは、使用の都度必ず閉めるよう習慣化する。
- ② 火気を取り扱う場所の近くに、接着剤等の可燃性の物を置かない。
- ③ 火気を使用するときは、直ちに使用できる場所に消火器を配置する。
- ④ 身近な箇所で火災等が発生したときは、まず自身の安全を確保して消火に当たる。
- ⑤ 火災や熱湯等でヤケドを負ったときは、直ちにヤケドの箇所を冷却し、冷却しながら病院で治療を受けることを徹底する、など。

労災・事故速報

(最近の新聞等から)

- ・工場に砂に埋まり死亡。2月26日午後、茨城県常総市のコンクリート工場で、作業中の50代男性作業員が、ストックヤードの中にためられた砂に埋まって死亡。(茨城新聞)
- ・下水道管の取り替え中に生き埋め、死亡。2月26日午前、千葉県市川市の下水道管取り替え工事現場で、30代男性作業員が深さ2mの穴の中で作業中、穴が崩れて生き埋めになり死亡。(千葉日報)
- ・屋根の補修中に転落、死亡。2月24日午前、神奈川県横浜市のJR横浜線中山駅で、駅舎の屋根の補修作業をしていた50代男性作業員が、ガラス張り部分が割れて約7m下のコンコースに転落し、死亡。(神奈川新聞)
- ・製パン工場でベルトコンベヤーに巻き込まれ死亡。2月24日午前、千葉県千葉市の製パン工場で、アルバイトの60代女性が菓子類を製造中にベルトコンベヤーに胸部を巻き込まれて死亡。(共同通信)
- ・牧草裁断中、機械に巻き込まれ死亡。2月23日午前、北海道士別市の養豚場で、牧草を裁断する作業をしていた40代男性作業員が、機械に巻き込まれ両足を切断して死亡。(産経新聞)
- ・漁船同士が衝突、1人行方不明。2月23日午前、和歌山県の潮岬の南南西約28km沖で漁船同士が衝突。一方の船に乗船していた70代男性の船長が行方不明。(朝日新聞)
- ・ゴミ収集車が側溝に脱輪、車体とドアに挟まれ死亡。2月23日午前、兵庫県たつの市の市道で、作業中のゴミ収集車が側溝に脱輪し、40代男性作業員が運転席のドアと車体に挟まれて死亡。(神戸新聞)
- ・トラックのクレーンが歩道橋に引っ掛かり荷が散乱。2月22日午後、東京都大田区で、走行中のトラックのクレーンが歩道橋に引っ掛かり積み荷が散乱。運転手の男性が救急搬送。(テレビ朝日)
- ・解体中の3階建ビルが倒壊し、作業員が死亡。2月19日午前、北海道江別市で、解体中の3階建ビルが倒壊し、作業員男性3人が巻き込まれる。そのうち下敷きになった40代男性作業員が死亡、あとの2人がケガ。(HBC北海道放送)
- ・建設現場の4階から転落して死亡。2月19日午前、沖縄県宮古島市のホテル建設現場で、とび職の18歳男性が高さ約12mの4階部分から転落して死亡。(琉球新報)
- ・ロードローラーが水路に転落、男性が死亡。2月16日午後、千葉県茂原市の工事現場で、ガス管取り替え作業後の道路舗装作業中だったロードローラーが水路に転落、乗っていた70代男性作業員が下敷きになって死亡。(千葉日報)
- ・積み込み中のショベルカーが荷台で横転、下敷きで死亡。2月15日午前、神奈川県小田原市の資材置き場で、トラックの荷台に積込中のショベルカーが横転し、作業をしていた60代男性作業員が下敷きになり死亡。(神奈川新聞)
- ・屋根材の設置中に転落、死亡。2月15日午前、福島県南相馬市の民家敷地内で、倉庫に屋根材を設置する作業をしていた板金工の70代男性が、作業中に高さ約3mの屋根から落下して死亡。(福島民友新聞)
- ・崩れてきた金型に挟まれ死亡。2月13日午後、群馬県太田市の自動車製造工場で、クレーンで吊り上げていた金型(約25t)が崩れ、リモコンでクレーン操作をしていた60代男性作業員が別の金型との間に挟まれて死亡。(上毛新聞)
- ・鉄製デッキプレートが落下し男性が下敷きで死亡。2月13日午前、埼玉県久喜市の鉄筋製造工場で、フォークリフトでトラックに積込作業中の鉄製デッキプレート(約5m)が落下、作業をしていた50代男性が下敷きになり死亡。(埼玉新聞)
- ・ダンプカーの積荷が散乱、対向車線の男性死亡。2月10日午後、愛知県半田市の自動車専用道路で、ダンプカーが中央分離帯に衝突し荷台のコンクリート片が散乱、対向車線の乗用車にぶつかり40代男性運転手が死亡。(東海テレビ)
- ・地震の片付け中、倒れたブロック塀の下敷きで死亡。2月10日午後、石川県七尾市で、能登半島地震で被害を受けた建物の片付けをしていた60代男性が、倒れてきたブロック塀の下敷きになり心肺停止。(北陸放送)
- ・チェーンソーで切った木の下敷きになり死亡。2月9日午後、埼玉県川島町の雑木林で、樹木の伐採作業をしていた20代男性作業員が、チェーンソーで切って倒れてきた木の下敷きになり死亡。(埼玉新聞)
- ・ミニショベルカーの下敷きになって死亡。2月9日午前、栃木県小山市の住宅敷地内で、トラックの荷台に乗せていたミニショベルカーが動き出して落下し、作業をしていた70代男性が下敷きになって死亡。(下野新聞)
- ・機械に左腕を巻き込まれ死亡。2月7日午後、新潟県上越市の金属加工業の工場で、金属を削る作業をしていた20代男性作業員が、左腕を機械に巻き込まれて死亡。(新潟日報)
- ・荷降ろし中、トラックの後部扉に挟まれ死亡。2月6日午後、鹿児島県喜界町の製糖工場で、サトウキビを大型トラックから降ろす作業をしていた60代男性作業員が、荷台の後部扉に挟まれて死亡。(南日本新聞)
- ・洗浄槽内で倒れて死亡。2月4日午後、埼玉県上尾市の金属部品の熱処理加工会社の未稼働日の工場で、60代男性作業員が洗浄槽内で倒れている状態で発見、その後死亡確認。槽内に水はほぼ残っておらず、死因は不明。(埼玉新聞)
- ・倒れた機械と衝突して死亡。2月2日午後、埼玉県神川町のリサイクル会社敷地内で、金属製機械の解体作業をしていた60代の解体業男性作業員が、倒れた重さ1t以上の大型機械と衝突して死亡。(埼玉新聞)
- ・横転した油圧ショベルの下敷きで死亡。2月1日午後、千葉県茂原市で、災害で崩れた川の法面を補修する作業中、土のうを水田に下ろしていた油圧ショベルが横転、ショベルで作業をしていた男性が下敷きになり死亡。(千葉日報)